

# 1. 概要

# 令和元年度 事業報告

急速に少子化及び超高齢化が進む現状において、地域を支える高齢者の存在意義がますます大きくクローズアップされており、シルバー人材センターに向けられる役割や期待は大きなものになっております。

このような状況において、今年度、当シルバー人材センターでは役員及び委員の改選、そして事務局の体制を一新したことにより、様々な「会員加入促進策」と「就業機会の確保拡大」を積極的に推進してきました。

会員数では、ここ数年減少傾向が続いている状況でありましたが、今年度は会員募集のチラシの全戸配布や市広報誌、FM放送、WEBサイトなど様々な媒体を利用しシルバーのPR等に努めたうえ、入会説明会の回数を増やし、そして女性限定の入会説明会も初めて開催しました。また、一般市民を対象としたシルバー入会前提の「庭木の手入れ・冬囲い講習会」を行い、人手不足分野の解消に努め、さらには会員に対し、「一人一声加入運動」のご協力をいただきながら、新規会員の確保を図った結果、昨年度では45名（男性34名・女性11名）の新再入会者数に対し、今年度では87名（男性59名・女性28名）の倍近い新再入会者となりました。

結果的には今年度、会員総数では522名（男性347名・女性175名）で、昨年度と比較して18名の増加となりました。

今後は会員の退会抑制策をより一層推進するとともに、介護予防事業、子育て支援事業等の需要の増すことが見込まれることから、「介護関係の担い手研修会」や「保育補助員・児童クラブ指導員補助研修会」などを開催して、女性会員の加入促進に力を入れていきたいと考えております。

事業実績は、請負・委任では公共の部で施設管理、草刈、書類封入業務などが増加したものの、屋内清掃、工場内作業が特に減少し、受託件数（△182件）と就業延人員（△2,162人）が下回りましたが、配分金の増額等の影響で契約金額においては114万円程増加となりました。

派遣では、受託件数と就業延人員がそれぞれ増加し、契約金額は301万円程の増加でした。

その結果、請負・委任と派遣業務を足した契約金額合計は前年度比416万円程の増加となりました。

派遣業務が増加となった要因は、特に受注状況を会員に公表する「お仕事情報」の導入や「就業希望調査」に基づく希望職種とのマッチングを推進でき、成果として表れたことによるものです。

これからも、一層の業務拡大や一般家庭、事業所等に対するシルバー事業のPRを推進するなど、会員、役職員一人ひとりがシルバー人材センターの意義役割を自覚し、各々の経験と知恵を活かしながら「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、一丸となってシルバー発展のために力を注いで取り組んでまいります。

## 事業実績の総括

	平成30年度	令和元年度	前年度比
年度末会員数	504人	522人	103.6%
①請負・委任			
受託件数	6,725件	6,543件	97.3%
就業延人員	60,315人	58,153人	96.4%
配分金額	167,245,053円	168,209,090円	100.6%
契約金額	191,951,235円	193,094,877円	100.6%
②派遣			
受託件数	14件	26件	185.7%
就業延人員	2,100人	2,911人	138.6%
賃金額	5,805,216円	8,084,841円	139.3%
契約金額	7,523,514円	10,535,849円	140.0%
契約金額合計	199,474,749円	203,630,726円	102.1%